

# 安全データシート

## 飼料添加物

## 炭酸コバルト

---

### 飼料品質改善協議会

### プレミックス研究会

連絡先: プレミックス研究会会員一覧を参照のこと。

作成年月日: 2023年12月13日

---


#### 1. 化学品名及び会社情報

化学品の名称	炭酸コバルト
供給者の会社名称	日本ニュートリション株式会社
住所及び電話番号	東京都港区南青山一丁目1番1号 TEL:03-5771-7890
用途	飼料または飼料添加物
使用上の注意	なし

#### 2. 危険有害性の要約

##### 化学品の GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	区分に該当しない
	金属腐食性化学品	分類できない

健康有害性	鈍性化爆発物	分類できない
	急性毒性（経口）	区分4
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入）	区分に該当しない
	皮膚腐食性／刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	区分1
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分2
	生殖毒性	区分2
	生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1（呼吸器、心臓）
	環境に対する有害性	誤えん有害性
水生環境有害性 短期（急性）		分類できない
水生環境有害性 長期（慢性）		分類できない
オゾン層への有害性		分類できない
GHS ラベル要素		
絵表示またはシンボル		
注意喚起語	危険	
危険有害性情報	飲み込むと有害 吸入するとアレルギー、ぜん息または呼吸困難を起こすおそれ それ 発がんのおそれの疑い 長期または反復ばく露(吸入)による呼吸器系、心臓の障害	
注意書き	【安全対策】 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙しない。 取り扱い後はよく手を洗う。 適切な保護手袋を着用する。	

適切な個人用保護具を使用する。

換気が十分でない場合は、適切な呼吸器用保護具を着用する。

環境への放出を避ける。

汚染された作業着は作業場から出さない。

粉じん、蒸気、ヒュームを吸入しない。

**【救急措置】**

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗う。

皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断、手当てを受ける。

汚染された衣類を再利用する前に洗濯する。

吸入した場合、呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

吸入した場合、呼吸に関する症状が出た場合、医師に連絡する。

ばく露またはその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受ける。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける。

漏出物を回収する。

**【保管】**

施錠して保管する。

**【廃棄】**

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し廃棄する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	炭酸コバルト
慣用名又は別名	炭酸コバルト
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS No.513-79-1
成分及び濃度又は濃度範囲	Coとして 43.0%以上
官報公示整理番号	1-126（化審法・安衛法）

4. 応急措置

吸入した場合 呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移動し、

- |                       |  |
|-----------------------|--|
|                       | 呼吸しやすい姿勢で休息する。   |
|                       | 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡する。   |
|                       | 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける。   |
| 皮膚に付着した場合             | 多量の水と石鹼で洗う。<br>汚染された衣類を再使用する前に洗濯する。<br>皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受ける。 |
| 眼に入った場合               | 水で数分間注意深く洗う。<br>眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受ける。                            |
| 飲み込んだ場合               | 口をすすぐ。多量に飲みこんだときは吐き出させる。<br>症状により、医師に連絡する。                             |
| 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 | 情報なし。  |
5. 火災時の措置
- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 適切な消火剤                | この製品自体は燃焼しない。不燃性である。 |
| 使ってはならない消火剤           | この製品自体は燃焼しない。不燃性である。 |
| 特有の消火方法               | この製品自体は燃焼しない。不燃性である。 |
| 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 | この製品自体は燃焼しない。不燃性である。 |
6. 漏出時の措置
- |                       |   |
|-----------------------|---|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | 直ちに、すべての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。<br>関係者以外の立入りを禁止する。<br>密閉された場所に立入る前に換気する。<br>二次災害の防止策：<br>プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぎ、排水溝や下水溝への流出を防ぐ。 |
| 環境に対する注意事項            | 環境中に放出してはならない。  |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材       | 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。<br>水で湿らせ、空気中のダストを減らし、分散を防ぐ。  |
7. 取扱い及び保管上の注意
- |       |                              |
|-------|------------------------------|
| 取扱い   |                              |
| 技術的対策 | 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、 |

	保護具を着用する。
安全取扱注意事項	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。 すべての安全注意を読み理解するまでは取り扱わない。 容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの取り扱いをしない。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。 取り扱い後はよく手を洗う。 湿気、水、高温体との接触を避ける。
保管	
安全な保管条件	容器を密閉して、高温、多湿を避ける。 施錠して保管する。
安全な容器包装材料	データなし
8. ばく露防止及び保護措置	
管理濃度	0.02 mg/m <sup>3</sup> (as Co)
許容濃度（ばく露限界値、 生物学的指標）	ACGIH（2007年度版）：TLV-TWA 0.02 mg/m <sup>3</sup> (as Co) 日本産業衛生学会（2011年度版）：0.05mg/m <sup>3</sup> (as Co)
設備対策	ばく露を防止するため、装置の密閉化または局所集じん装置を設置する。
保護具	
呼吸用保護具	適切な呼吸器用保護具を着用する。
手の保護具	適切な保護手袋を着用する。
眼、顔面の保護具	適切な眼の保護具を着用する。
皮膚及び身体の 保護具	適切な保護衣を着用する。
特別な注意事項	衛生対策：取り扱い後は良く手を洗う。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	微粉末
色	淡赤色
臭い	無臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点	データなし
範囲	
可燃性	不燃性

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	不燃性
自然発火点	不燃性
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	2.7 mg/100g・水(15℃)、希酸、炭酸水素アルカリ、炭酸アンモニウム溶液に熱時可溶。空気中で加熱すると CO <sub>2</sub> を放出し、酸化され Co <sub>2</sub> O <sub>3</sub> となり、さらに高温では還元され Co <sub>3</sub> O <sub>4</sub> 、次いで CoO になる。
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ	データなし

#### 10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	水にほとんど不溶だが、希酸には炭酸ガスを発生して、徐々に溶ける。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	加熱、日光
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

#### 11. 有害性情報

急性毒性	
経口	急性経口毒性 (RTECS) LD <sub>50</sub> >640 mg/kgラットに基づいて区分4とした。 急性毒性では、コバルトとして、 経口ラット LD <sub>01</sub> =1500 mg/kg 筋肉ラット LD <sub>01</sub> =112 mg/kg 吸入ラット LD <sub>01</sub> =25 mg/kg

	経口-ウサギ LDLo=20 mg/kg
経皮	データなし
吸入	データなし
（蒸気・粉じん・ミスト）	
皮膚腐食性/刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	データはないが、結膜、角膜を刺激する事が知られている。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性：コバルト及びコバルト化合物として日本産業衛生学会にて第1群(産業学会勧告(2011))、EUにてR42/43(EU-Annex-1)に分類されていることに基づいて区分1とした。 皮膚感作性：コバルト及びコバルト化合物として日本産業衛生学会にて第1群(産業学会勧告(2011))、EUにてR42/43(EU-Annex-1)に分類されていることに基づいて区分1とした。
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	ACGIH(2001)で、A3(cobalt and inorganic compounds として)、LARC(1991)で Group2B(cobalt and cobalt compounds として)、日本産業衛生学会で第2群 B (コバルト及びコバルト化合物として) に分類されていることに基づいて区分2とした。
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	本製品のデータはないが、長期間コバルトを含む粉じん、フュームまたはミストを吸引すると重度の呼吸器系疾患を引き起こす。過敏な人は吸引すると呼吸困難となる気道障害を引き起こす。また、無機コバルト化合物の反復ばく露により、呼吸器、心筋への影響があることが知られていることから区分1 (呼吸器、心臓) とした。
誤えん有害性	データなし
<b>12. 環境影響情報</b>	
生態毒性	水生環境急性有害性：データなし
残留性・分解性	データなし

生態蓄積性	水生環境慢性有害性：データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

化学品（残余廃棄物），当該化学品が付着している	残余廃棄物：廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。
汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄，又はリサイクルに関する情報	汚染容器及び放棄：都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。排水溝への流出は、できるだけ避ける。

14. 輸送上の注意

国連番号	非該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	輸送に関しては、容器の破損、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を行い、乱袋に注意する。 食品と一緒に輸送してはならない。
国内規制がある場合の規制情報	非該当

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化学物質管理促進法（PRTR法）	第一種指定化学物質 1-132号 コバルト及びその化合物
労働安全衛生法	第57条名称などを表示すべき対象物質（表示対象物）
毒物及び劇物取締法	非該当
飼料安全法	飼料添加物（炭酸コバルト）

16. その他の情報

この安全データシートは、いくつかの安全データシートを参考にして、飼料品質改善協議会 プレミックス研究会が作成したものです。すべての資料や文献を調査したわけではないため、情報に漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定などにご利用される場合は、別途、資料や文献を調査し検討されるか、試験によって確かめることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質など



の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常の取り扱いを想定しており、特殊な取り扱いの場合には、別途注意が必要になることをご配慮ください。

<引用文献>

- 正同化学工業株式会社 MSDS（2009年1月7日改定版）
- 14906の化学商品 化学工業日報社
- 化学物質管理促進法対象物質全データ化学工業日報社
- GHS分類対象物質一覧 製品評価技術基盤機構
- 産業中毒便覧、医歯薬出版
- 労働安全衛生法施行令
- 特定化学物質予防規則

<改訂履歴>

版	日付	内容
初版	2001年5月18日	—
第2版	2014年11月20日	GHS対応
第3版	2015年12月4日	文言修正など
第4版	2021年12月20日	JIS改正に合わせて改訂
第5版	2023年12月13日	労働安全衛生法改正に合わせて改訂